



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社
 コード番号 9962 URL <https://www.misumi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンスプラットフォーム (氏名) 高波 徹
 代表執行役員 CFO

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	274,155	22.9	41,898	139.0	42,035	140.8	29,903	145.4
2021年3月期第3四半期	223,014	5.4	17,533	3.2	17,459	1.1	12,183	5.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 35,967百万円 (174.4%) 2021年3月期第3四半期 13,106百万円 (21.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	105.23	104.88
2021年3月期第3四半期	42.91	42.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	324,761	262,201	79.9
2021年3月期	288,921	233,569	80.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 259,494百万円 2021年3月期 231,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		5.91		9.18	15.09
2022年3月期		18.33			
2022年3月期(予想)				14.23	32.56

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	366,000	17.8	52,000	91.2	52,000	91.3	37,000	115.9	130.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	284,380,297 株	2021年3月期	284,244,497 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	129,896 株	2021年3月期	129,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	284,169,270 株	2021年3月期3Q	283,912,017 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、期初から設備投資需要や稼働が回復し、その後堅調に推移してきました。一方で、半導体など一部の部品の品薄状況が継続しており、また、グローバルで新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞やサプライチェーンに及ぼす影響などの懸念があり、先行きの景況については不透明感を払拭できない状況にあります。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。

これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響や地政学的なリスク等の環境変化にも対応することで世界の顧客に安定供給を継続いたしました。

この結果、連結売上高は274,155百万円（前年同期比22.9%増）となりました。利益面につきましては、売上高の拡大および収益改善効果の継続により、営業利益は41,898百万円（前年同期比139.0%増）、経常利益は42,035百万円（前年同期比140.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29,903百万円（前年同期比145.4%増）となり、第3四半期決算として売上高、利益ともに過去最高を更新しました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。収益認識会計基準等の適用が財政状態及び経営成績に与える影響の詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

・ 報告セグメントの業績

①FA事業

FA事業は、日本をはじめ全ての地域で成長が継続したことにより、売上高は88,962百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は18,542百万円（前年同期比76.6%増）となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、全地域において成長が継続し、売上高は56,224百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は7,580百万円（前年同期比147.6%増）となりました。

③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた製造、自動化関連設備部品・間接材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。グローバルで自動化関連需要を幅広く獲得したことで、売上高は128,969百万円（前年同期比28.4%増）、営業利益は15,776百万円（前年同期比296.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ35,840百万円(+12.4%)増加し、324,761百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金、商品及び製品の増加などにより流動資産が29,110百万円(+14.3%)増加したこと、有形固定資産が2,767百万円(+6.5%)増加したこと、無形固定資産が3,465百万円(+10.9%)増加したことによるものです。

総負債は、前連結会計年度末と比べ7,208百万円(+13.0%)増加し、62,560百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等の増加などにより流動負債が4,592百万円(+10.8%)増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ28,631百万円(+12.3%)増加し、262,201百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加などにより株主資本が22,359百万円(+9.8%)増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.0%から79.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ21,557百万円増加し、93,522百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、42,663百万円の純収入となりました(前年同期は22,927百万円の純収入)。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が40,910百万円、減価償却費が11,479百万円、売上債権の減少額が1,003百万円、棚卸資産の増加額が2,352百万円、仕入債務の減少額が1,235百万円、法人税等の支払額が8,497百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14,634百万円の純支出となりました(前年同期は3,716百万円の純支出)。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が12,662百万円、定期預金の預入による支出が7,105百万円、定期預金の払戻による収入が5,240百万円、敷金及び保証金の差入による支出が1,144百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,142百万円の純支出となりました(前年同期は5,132百万円の純支出)。この主な内訳は、配当金の支払額が7,817百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、グローバルで設備投資需要や稼働が堅調に推移しており、業績の進捗および足元の需要動向を勘案した上で、通期連結業績予想を以下のとおり上方修正いたします。

なお、今後さらなる新型コロナウイルス感染症拡大により業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

[2022年3月期 通期 (2021年4月1日～2022年3月31日) 連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
今回修正予想	366,000	52,000	52,000	37,000	130.17
前回発表予想	356,000	48,500	48,500	35,200	123.87

配当予想につきましては、本日公表いたしました「連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,428	95,871
受取手形及び売掛金	71,687	72,650
商品及び製品	46,329	48,370
仕掛品	2,513	2,651
原材料及び貯蔵品	6,501	7,933
その他	4,793	5,856
貸倒引当金	△277	△249
流動資産合計	203,976	233,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,314	13,807
機械装置及び運搬具（純額）	15,808	15,991
土地	3,950	3,953
その他（純額）	8,415	11,503
有形固定資産合計	42,488	45,255
無形固定資産		
ソフトウェア	26,215	28,334
その他	5,565	6,911
無形固定資産合計	31,781	35,246
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	11,012	11,509
貸倒引当金	△343	△342
投資その他の資産合計	10,675	11,173
固定資産合計	84,945	91,675
資産合計	288,921	324,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,458	19,012
未払金	8,024	8,140
未払法人税等	2,775	5,975
賞与引当金	3,571	3,182
役員賞与引当金	41	35
その他	8,719	10,837
流動負債合計	42,591	47,183
固定負債		
退職給付に係る負債	6,811	7,072
その他	5,948	8,304
固定負債合計	12,760	15,377
負債合計	55,351	62,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,436	13,573
資本剰余金	23,791	23,929
利益剰余金	190,779	212,865
自己株式	△78	△79
株主資本合計	227,929	250,289
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	35
為替換算調整勘定	3,371	9,307
退職給付に係る調整累計額	△153	△138
その他の包括利益累計額合計	3,217	9,205
新株予約権	1,787	1,969
非支配株主持分	634	737
純資産合計	233,569	262,201
負債純資産合計	288,921	324,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	223,014	274,155
売上原価	127,426	148,780
売上総利益	95,588	125,375
販売費及び一般管理費	78,054	83,476
営業利益	17,533	41,898
営業外収益		
受取利息	220	377
雑収入	259	284
営業外収益合計	479	662
営業外費用		
売上割引	55	—
為替差損	220	346
雑損失	277	179
営業外費用合計	553	526
経常利益	17,459	42,035
特別損失		
減損損失	1,132	421
新型コロナウイルス感染症による損失	—	703
その他	236	—
特別損失合計	1,368	1,124
税金等調整前四半期純利益	16,091	40,910
法人税等	3,879	10,952
四半期純利益	12,212	29,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,183	29,903

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	12,212	29,958
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	35
為替換算調整勘定	881	5,950
退職給付に係る調整額	13	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	6
その他の包括利益合計	894	6,008
四半期包括利益	13,106	35,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,040	35,891
非支配株主に係る四半期包括利益	66	75

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,091	40,910
減価償却費	11,218	11,479
減損損失	1,132	421
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	543	275
賞与引当金の増減額(△は減少)	△625	△441
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	60	△35
受取利息及び受取配当金	△226	△383
支払利息	51	63
株式報酬費用	490	438
為替差損益(△は益)	△0	△19
持分法による投資損益(△は益)	△22	△27
新型コロナウイルス感染症による損失	—	703
売上債権の増減額(△は増加)	1,216	1,003
棚卸資産の増減額(△は増加)	320	△2,352
未収消費税等の増減額(△は増加)	815	△205
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,555	△1,235
未払金の増減額(△は減少)	△1,514	△27
その他の資産の増減額(△は増加)	193	△235
その他の負債の増減額(△は減少)	713	1,014
小計	28,891	51,339
利息及び配当金の受取額	243	285
利息の支払額	△51	△63
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△676
法人税等の還付額	339	276
法人税等の支払額	△6,494	△8,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,927	42,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△10,912	△12,662
固定資産の売却による収入	75	62
定期預金の預入による支出	△1,533	△7,105
定期預金の払戻による収入	8,349	5,240
敷金及び保証金の差入による支出	△244	△1,144
敷金及び保証金の回収による収入	523	974
その他	24	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,716	△14,634
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	0	16
配当金の支払額	△3,676	△7,817
リース債務の返済による支出	△1,454	△1,344
その他	△2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,132	△9,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	822	2,671
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,902	21,557
現金及び現金同等物の期首残高	44,439	71,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,341	93,522

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、買戻し義務を負っている有償支給取引については、金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高、当第3四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響はありません。この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期連結会計期間末の商品及び製品は437百万円、流動負債その他は437百万円増加しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染影響に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染影響は、製造業の設備投資需要や顧客の稼働に一定の影響を与えており、2022年3月期の一定期間にわたり当社グループの業績に影響を与えるものと仮定し、棚卸資産の評価、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。また、当該会計上の見積りの仮定について、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

なお、この仮定は新型コロナウイルス感染影響の収束時期等、様々な要因に大きく影響を受けるため、将来における実績値に基づく結果がこれらの仮定及び見積りと異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,055	48,520	100,438	223,014	—	223,014
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	74,055	48,520	100,438	223,014	—	223,014
セグメント利益	10,497	3,061	3,975	17,533	—	17,533
のれん等償却前セグメント利益※	10,497	3,502	3,975	17,975	—	17,975

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	88,962	56,224	128,969	274,155	—	274,155
外部顧客への売上高	88,962	56,224	128,969	274,155	—	274,155
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	88,962	56,224	128,969	274,155	—	274,155
セグメント利益	18,542	7,580	15,776	41,898	—	41,898
のれん等償却前セグメント利益※	18,542	7,962	15,776	42,280	—	42,280

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
110,768	46,633	30,732	19,662	11,599	3,618	223,014

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
16,655	7,354	6,637	4,574	8,012	43,233

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
131,442	56,938	40,411	24,711	15,410	5,240	274,155

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
15,485	9,903	6,011	4,537	9,317	45,255